



執行部の答弁は実行されているのか？

一般質問のその後

過去の一般質問の内容に対し、
どのような対応がなされたか、
また、どのように町政に
反映されているのか追跡しました。



「翼をください2」(令和4年12月議会)

質問 かつて町制施行50周年記念事業として「須恵町少年の翼」事業が行われました(中学生10人をオーストラリアに約2週間ホームステイ)。再び須恵町の子どもたちに翼を与えてください。

答弁 **教育長** 大変有意義だが少数の対象者のみとなり、教育的効果は限定的と考えています。

町長 限られた生徒だけに機会を与えるのは違うのでは。全生徒400人を英語圏に連れていくのは財政的に難しい。船になるかもしれませんが、時期が来れば(隣国に)修学旅行として実施できるのではないかと思います。

その後

現状 須恵町では、「中学生海外派遣事業」として、令和7年7月26日から30日までの5日間、中学生15人をシンガポールに派遣しました。大きく成長しての帰国後は、8月20日に報告会を開催し、全員が元気いっぱい体験を報告しました。

事業予算は750万円。うち県から460万円の補助。応募者は59人。須恵中から5人、東中から10人が派遣されました。

議場での海外派遣事業報告会。
外国の生活に触れ、
多くのことを学んで
いました！



一般質問の録画配信は、こちら



議員研修レポート

「議会だより すえ」町民とつながる議会広報へ

議員研修の第2弾として「議会だより すえ」考える・書く・届ける Next Actionをテーマに、議会だよりを「より強力な広報ツール」にしていくための議員研修会を開きました。

講師は、前回と同様、株式会社社会議録センターの矢嶋 洋美先生をお招きし、前回研修会の振り返りや「議会だより すえ」の可能性について議員全員で研修会に臨みました。

議会だよりチェックでは、前回研修から1年の「変化と進化」について、広報特別委員会の協議の結果が如実に現れており、変革著しいとお褒めの言葉をいただきました。

今回の大きな研修の目的は「原稿」を書くことを主眼としており、伝えるく伝わるを意識し、1文を短く、敬

体文・常体文を混在させない、句読点に注意しながら、原稿を書く実習も行いました。

今回のような研修により、「議会だより」が議会活動を強力に発信するツールであることを議員全員が再認識し、町民の皆さまとつながる「議会だより すえ」の発行を目指してまいりたいと思います。

ご愛読の程よろしくお願いします！

236号を議員全員で再度チェック！
手に取って、読んでもらえる議会だよりへ

どう
感じました？

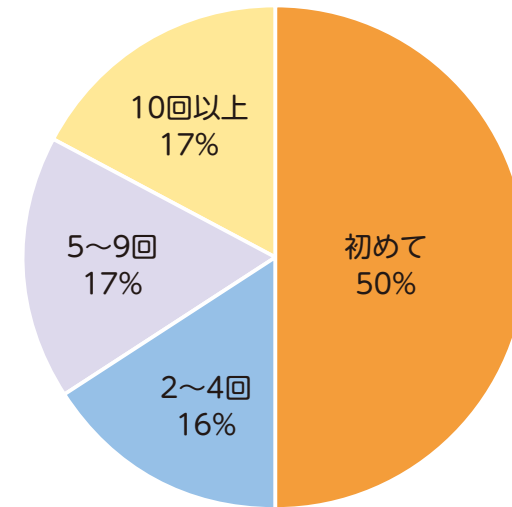
『議会のリアル』

— 傍聴者(視聴者)の声 —

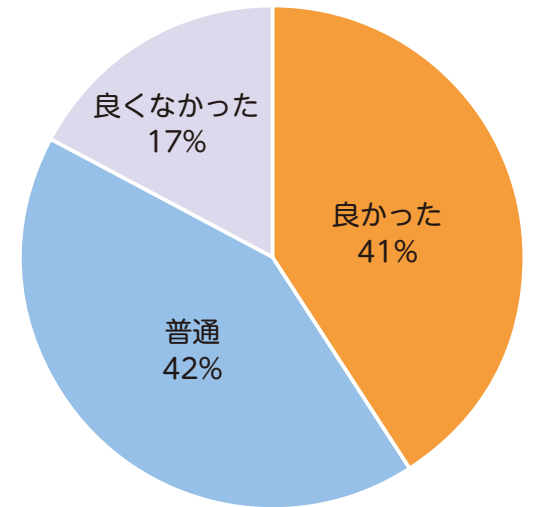
LIVE配信視聴数 121名 録画配信視聴数 295回

※視聴数は、1時間毎の視聴数を積み上げた数です。

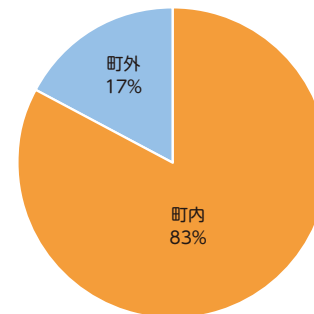
須恵町議会映像配信を、今まで何回視聴したことがありますか？



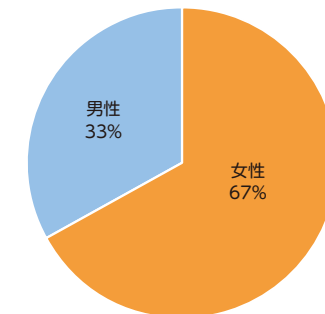
第3回定例会一般質問を視聴してどう感じましたか？



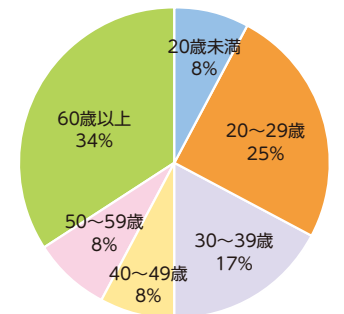
あなたのお住まいを教えてください



あなたの性別を教えてください



あなたの年齢を教えてください



30歳代女性

正直、課題に対して、1歩も進みそうな気がしなかった。
あらかじめ決まったシナリオをいかに上手に読むかが鍵の定例会なのかな？と感じた。



40歳代女性

今回、初めて動画傍聴させていただきました。今までは、広報で結果を読むぐらいでしたので、とても雰囲気わかりました。アンケートができる場もあり、色々意見を言わせていただきましたので、今後、住民の声がもっと届くようになって欲しいです。



50歳代女性

議会の前に町民からの意見を集めると良いと思う。



60歳以上男性

一般質問の通告と答弁の在り方について、明確にしてほしい。



60歳以上女性

須恵町の問題視される点が理解できた。
町長の答弁が楽しめ。

川口議員



一般質問は、行政の施策や方針を問うほか、町民の声を届ける場として、行政側に対し質問の概要を事前に通告しています。これは、質問の概要を事前に広く周知し、行政側が答弁の準備を整え、円滑かつ効率的な議会運営を確保することを目的としています。

しかし、すべての質問事項を事前に通告しているだけでなく、行政側の答弁に対して、さらに質問を行ない、与えられた時間の中で、成果、結果を引き出すことが出来るように取り組んでいます。

※お寄せ頂いたご意見は、全議員がすべて読ませていただいています。